

MY TOWN

見どころ食べ廻

福山駅から南へ14km。沼隈半島の先端にある鞆の浦は、日本で最初の国立公園の1つとして指定された瀬戸内海国立公園を代表する景勝地。穏やかな瀬戸の海上に弁天島、仙酔島などの島々が浮かび、その姿はまさに素晴らしい絵を見るよう。かつては潮待ちの港として、また大陸との交易の場として栄え、現在も残る名所・旧跡・古寺、古い町並みの中に、落ち着いた瀬戸内の風情を感じさせる港町です。

鞆の浦で観光鯛網が行われるなど、鯛は全国に名だたる福山の名物。活きづくりや塩焼きをはじめ、鯛飯、鯛そうめんなど、新鮮で味わい深い料理が賞味できます。

中でも、鯛そうめんはユニークな料理で、だしのよくきいた鯛とそうめんの味は絶品。鞆の浦一帯の旅館やホテルで、その瀬戸内の味を満喫できます。（石岡建設株 石岡清見）



鯛そうめん



鞆の浦全景



鞆七郎落遺跡



いろは丸展示館



安國寺（国重文）

鞆對潮樓（国史跡）
江戸時代の朝鮮通信使の客殿で、座敷からの海の眺望は絶景といわれている。

幕末、尊皇攘夷を唱える三条実見ら7人の公家が、公武合体派に追われ長州に逃れる途中、立ち寄った旧保名酒屋

衝突事故の後、鞆港への曳航中に沈没した坂本龍馬のいろは丸や、鞆浦在中の龍馬について知ることができる。

今回は事務局がご多忙な門崎理事を本社にお伺いしてインタビューしました。

トップの
顔

私の履歴書

丸門建設株代表取締役社長
岩盤削孔技術協会理事 門崎 孝市



門崎 孝市 (もんざき こういち)

大正15年3月28日岐阜県生まれ。昭和40年丸門運輸株式会社を設立、代表取締役社長に就任。昭和46年丸門建設株式会社を設立、代表取締役社長に就任。

建て、親子4人、4畳半住まい、残りは人に貸して収入を補

■会社設立

東は飛騨高山、南は美濃白鳥、北は越中五箇山とを結ぶ交通の要衝、庄川村で育った。

周囲を山並みに囲まれた典型的な農山村。四季を通じてさまざまな美しさを見せてくれる。庄川最上流にある岩石と粘土で築いた世界的規模のロックフィル式御母衣（みぼろ）ダムの建設で、6集落400戸の合掌造民家が水没の犠牲となった（昭和26年）。

昭和25年、社長が24歳のとき父が亡くなり、長男なので弟・妹7人を育てた。御母衣ダムの水没の犠牲で岐阜に出てきた。保証金でアパートを

った。

社長の恩師であるヨーコン（株）初代社長のうしろだてにより、昭和35年からパイル輸送と昭和46年から基礎杭打業を行い、誠実な人柄と仕事への情熱で出入りの大手建設会社の信頼を得て社業を軌道に乗せ、大手基礎工事会社へ育て上げた（丸門運輸株50名、丸門建設株55名）。

■努力・強運

これまでの過程は決して順調なものではなく、多くの試練があったが、強固な意志力、優れた判断力、旺盛なチャレンジ精神で困難を乗り越えてきた。弟たちの協力もあった。

強運といえば、名古屋の大同製鋼所へ徴用されたとき、昭和20年3月の空襲で工場が爆破され、爆弾が身近に落ちたが、たんぽにチンチン音を立てながら沈んでいき、不発で、“九死に一生”を得た。

姓名学家による鑑定でも、“宿命的運・才能・人柄・生涯運・姓と名の調和”が大吉で、強固な意志力・優れた判断力・誠実温厚な人柄・指導者運をもち、晩年に地位・名誉・財力のすべてが得られる人とか。